

令和２年度第１回小牧市青年の家運営委員会 議事要旨

【日 時】 令和２年７月１日（水）

午後２時～午後３時

【会 場】 小牧市青年の家 講義室

【出席者】 東岡委員、林（千）委員、橋本委員、名和委員、林（義）委員、佐藤委員、船橋委員

【事務局】 鍛冶屋こども未来部長、櫻井こども未来部次長、伊藤課長、舟橋指導員、荒川

（こまき市民文化財団）原田マネージャー、清田主査

【傍聴者】 なし

【議 題】（１）令和元年度青年の家利用状況について

（２）令和２年度青年の家事業計画及び中間報告について

（３）その他

【会議内容】

１ こども未来部長あいさつ

小牧市青年の家は、心身ともに健全な青少年の育成を図るための施設として、小牧山の自然に囲まれた好立地、宿泊のできる公共施設という特徴を活かして、各種事業を展開しております。

今般のコロナウイルスの影響に伴い、他の施設同様、青年の家につきましても２月２９日より施設利用を停止させていただいておりましたが、この度、愛知県独自の緊急事態宣言が５月２６日に解除されたことを受け、６月１日より新型コロナウイルス予防対策をとりながら、施設利用を再開させていただいております。

そしてこのような状況下であります。今年度の事業が徐々にスタートしていくところであります。本日は、令和２年度第１回目の青年の家運営委員会ということで、昨年度の実績と今年度の中間報告をさせていただくところではありますが、ほとんどの事業が動いておりませんので主に今年度の事業計画となりますが、皆様方の忌憚のないご意見を頂戴し、今後の施設運営に活かしていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

《委員自己紹介》

《事務局紹介》

《委員長選出》⇒《林（義）委員が選任》

林（義）委員長あいさつ

みなさんこんにちは。小牧のために少しでもお役に立てればという思いで委員長を努めさせていただきたいと思います。コロナウイルス感染拡大の影響による自粛期間により、これまで当たり前に行っていたことができなくなりました。この期間は私たち自身、色々と考えさせられる時間でもありました。このような状況下で、できないという言葉で済ませることはとても簡単なことではありますが、そこで思考を停めてしまうのではなく、どのようにしたら少しでも良くなるのかを考えながら、一歩ずつ前に進んでいきたいと思いますので、よろしくお願いします。

2 議題

（１）令和元年度青年の家利用状況について

（事務局）

資料１、２にもとづいて説明。

以下のとおり、意見があった。

（林委員長）

コロナウイルス感染拡大防止対策で施設利用が停止となった２、３月を除いても昨年より利用者件数・人数が減っているのはなぜですか。

（事務局）

小牧市内の各地域協議会の活動が活発化し、地区ごとで文化・教育活動の施設が整備されたことと、学校ごとの活動の活発化により、市内全体の青少年教育の場が整備されたことが青年の家の利用が減少した主な要因となっています。また、小牧市外の青少年団体の利用が減ったことも理由の一つではありますが、自然の豊かさや歴史的な背景等、青年の家ならではの特色を活かして事業の展開を行うことで利用者数を伸ばしていきたいと思います。

（２）令和２年度青年の家事業計画及び中間報告について

（事務局）

資料３にもとづいて説明。

以下のとおり、質疑応答があった。

（橋本委員）

市役所の駐車場から青年の家までの距離を子どもが歩くことは大変なので、保護者がれきしるこまきまで車で送ってきて、そこで U ターンしていただくことはできませんか。

（事務局）

史跡小牧山地内には、管理者車両等を除き、原則車両の乗り入れはできず、れきしるこまき前の道も一般車両の通行が禁止のため、保護者の送迎時には市役所の駐車場を利用していただきたいです。

（船橋委員）

青年の家において宿泊利用再開の見通しはありますか。

（事務局）

宿泊の利用再開には浴室と脱衣所の換気の強化を図らなければなりません。青年の家には換気扇が設置されておらず、現時点において利用再開の時期については未定です。また、宿泊利用再開には部屋の定員の制限もあり、現在利用再開に向けた対応について検討中です。

（船橋委員）

宿泊する際、浴室を利用しないことも多いため、そこを含めて検討してほしいです。

（林委員長）

「国際金融から見た世界情勢」という昨年までのテーマと全く異なる内容の青年対象講座の開催を決めた理由を知りたいです。

（事務局）

講義室を利用し、より多くの方が参加できる座学講座を開催したいという思いからです。また、今般のコロナウイルスの影響で世界情勢が不安定になりつつある中で、今後の景気や社会保障等、人々が抱く生活の不安を少しでも解消できればという思いがあり、このテーマに決定しま

した。しかし、コロナウイルスの影響で応募状況が非常に少ないので、ぜひ皆さんにも参加していただきたいと思います。

(3) その他

青年の家を活用したコロナウイルスの影響によるトラブルへの対処法の啓発活動の実施について

(事務局)

昨今のコロナウイルスによる影響などでアルバイトのシフトの急減や、雇用契約の解除などのトラブルが発生しています。令和2年第2回小牧市議会定例会一般質問にて、「相談窓口や就労トラブル等、青年の家を活用した講座などによって啓発活動を実施することはできないか」との提案がありました。今回実施の可否を含めて委員の皆さんのご意見をお聞かせ願いたいと思います。

(東岡委員)

トラブルがあっても一人ひとり対処方法が異なるので、講座よりも相談窓口を設ける方が啓発活動には効果的であると思います。

(名和委員)

講座の周知方法について検討した上で開催した方が良いでしょう。また、市議会から意見を頂いたので講座を開催するというのは、時期尚早であると思います。

(船橋委員)

青年の家で効果的に講座を開催するのは難しいと思います。

(林委員長)

講座を開くのは良いですが、活用については難しいと思います。また、就労トラブルが起きた場合にその対処法を知っているよりも窓口を設置する方が、需要があるのではないかと思います。

3 その他